



1 貧困を  
なくそう



## 貧困をなくすことは なぜ大切か

目標の内容は何ですか。

2030年までに、あらゆる形態の貧困に終止符を打つことです。

なぜ、この目標が設定されたのですか。

世界人口の11%に当たる7億を超える人々は依然として、極度の貧困の中で暮らし、健康、教育、水や衛生へのアクセスなど、多くの最も基本的ニーズを満たすために必死です。

そうなのです。1日1ドル90セント未満で生活する人々の圧倒的多数は、南アジアとサハラ以南アフリカで暮らし、全世界で極度の貧困の中で暮らす人々全体の約

70%を占めています。

中国やインド、インドネシア、ナイジェリアなどの低中所得国は、全世界の貧困層の約半数を抱えています。

2017年には、自然災害による経済的損失が3,000億ドルを超え、近年でもまれに見る水準に達したと見られます。

しかし、この問題は先進国にも影響しています。世界の最も豊かな国々で現在、3,000万人の子どもが貧困の中で成長しているからです。

世界が健康と教育の改善に向けた**行動**を取らなければ、2030年までに**1億6,700万人**の子どもが**極度の貧困**の中で暮らすことになり**ます**。

## 世界ではなぜ、これほど貧困が広がっているのですか。

貧困には多くの側面がありますが、その原因としては失業、社会からの排除、さらには、生産性を高めることを妨げるような災害、疾病、およびその他の現象に対する脆弱性が高い人々がいることなどが挙げられます。

## 私は貧しくありません。なぜ他人の経済状況を心配する必要があるのでですか。

たくさんの理由がありますが、簡単に言えば、人間として、私たちの福祉がお互いにつながっているからです。不平等が広がれば経済成長に悪影響が及び、社会的一体性が損なわれることで、政治や社会の緊張が高まり、場合によっては情勢不安や紛争の原因にもなりかねません。

## 本当にこの目標は達成できるのですか。

できます。経済学者ジェフリー・サックス氏の試算によれば、20年で全世界の極度の貧困に終止符を打つために必要な費用は、総額で年間1,750億ドル程度です。この額は、世界で最も豊かな国々の総所得を合わせた額の1%にも及びません。

## では、私には何ができるのですか。

### 若者の場合：

政策立案へ積極的に関わることで、貧困への取り組みを大きく変えることができます。そうすれば、あなたの権利が推進され、あなたの声が届き、知識が世代間で

共有されるとともに、人々の暮らしとコミュニティの根本的な変革を支えるイノベーションと批判的思考が、あらゆる年齢層に促されることとなります。

### 政策立案者の場合：

政府は、貧しく、社会から隔離された人々に生産的な雇用と雇用機会を作り出せる環境の整備に貢献できます。また、貧困層に利益をもたらす成長を促し、貧困を削減する戦略や財政政策を策定することもできます。

### 民間企業で働いている場合：

経済成長の原動力として、民間セクターは、自らが作り出した成長が包摂的なものであり、貧困削減に貢献できるか否かを決定づけるうえで、大きな役割を果たします。また、貧困層のほとんどが活動する経済分野、すなわち零細・中小企業とインフォーマル・セクターの企業に焦点を絞ることで、貧困層にとっての経済的機会を増やすこともできます。

### 科学・学術界の一員である場合：

学術・教育界は、貧困の影響に対する認識を高めるうえで、重要な役割を果たします。科学は、貧困を削減し、持続可能な開発を達成するという課題に取り組むための新しい持続可能な手法、解決策および技術の基盤を提供します。貧困に終止符を打つことに対する科学の貢献には、目覚ましいものがあります。例えば、科学のおかげで、安全な飲み水へのアクセスが可能になり、水系感

染症による死者が減少し、衛生状態が改善された結果、安全でない飲み水や衛生施設の欠如に関連する健康上のリスクが低下しています。

目標 1 をはじめ、持続可能な開発目標(SDGs)についてさらに詳しくはこちらをご覧ください。

[http://www.unic.or.jp/activities/economic\\_social\\_development/sustainable\\_development/2030agenda/](http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/)

改訂版・日本語訳：国連広報センター  
(2019年3月)



**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**  
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD